



2024年度環境省LD-Techリスト(案)・ 水準表(案)からの変更点

2024年度環境省LD-Techリスト・水準表の策定

令和6年(2024年)12月
2024年度環境省LD-Tech制度運営事務局



2024年度LD-Techリスト(案)からの変更点



- 2024年度環境省LD-Techリスト(案)より、以下のクラスの情報を更新致します。

更新箇所は、赤字で表示

更新対象クラス			更新内容
リストクラスNo.	設備・機器等の名称	原理・しくみ	
L-000263	内外共に換気口を持つ二重窓	アルミ製と樹脂製の二重窓と換気口で構成されているものを指し、24時間換気設備の稼働により、二重窓の中間層を経由して外気が室内に取り込まれる。中間層に外気を通気させることにより、外窓側は内外の温度勾配を小さくし、外部への伝導熱を減少（窓の高断熱化）させ、内窓側は室内から中空層へ流れる伝導熱を換気空気のにせて熱回収することで、昇温された空気として室内に取り込む（快適な換気）ことができる。	意見および根拠資料を踏まえ、「原理・しくみ」を更新致します。

2024年度LD-Tech水準表(案)からの変更点 (1/6)



- 2024年度環境省LD-Tech水準表(案)より、以下のクラスの情報を更新致します。

〈水準値の設定を行ったクラス〉

更新箇所は、赤字で表示

更新対象クラス				更新内容
水準表クラスNo.	設備・機器等の名称	水準値	測定単位	
S-040005	温水機	103	%	意見および根拠資料を踏まえ、LD-Tech水準を左記の値に設定致します。
S-040008	温水機	105	%	意見および根拠資料を踏まえ、LD-Tech水準を左記の値に設定致します。
S-044003	水素ボイラ（貫流ボイラ）	98	%	意見および根拠資料を踏まえ、LD-Tech水準を左記の値に設定致します。

〈新設したクラス〉

更新対象クラス					更新内容
水準表クラスNo.	設備・機器等の名称	クラス（条件）	水準値	測定単位	
S-044004	水素ボイラ（貫流ボイラ）	潜熱回収型	105	%	意見および根拠資料を踏まえ、クラスを新設致します。

2024年度LD-Tech水準表(案)からの変更点 (2/6)



〈水準値の更新を行ったクラス〉

更新箇所は、赤字で表示

更新対象クラス				更新内容
水準表クラスNo.	設備・機器等の名称	水準値	測定単位	
S-044002	水素ボイラ (貫流ボイラ)	98	%	意見および根拠資料を踏まえ、LD-Tech水準を更新致します。
S-260020	デシカント空調システム	5.1	kg/h/kW	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-260021	デシカント空調システム	4.4	kg/h/kW	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-260022	デシカント空調システム	5.1	kg/h/kW	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-260023	デシカント空調システム	5.1	kg/h/kW	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-027003	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	3.3	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-027041	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	4.4	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-027046	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	2.7	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。

※上記に加え、設備・機器等毎にLD-Tech水準の桁数を統一する観点から、一部水準値の桁数を修正

2024年度LD-Tech水準表(案)からの変更点 (3/6)



〈水準値の更新を行ったクラス〉

更新箇所は、赤字で表示

更新対象クラス				更新内容
水準表クラスNo.	設備・機器等の名称	水準値	測定単位	
S-027057	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	4.8	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-027061	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	3.0	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-029003	高温水ヒートポンプ (水空気熱源・循環式)	3.0	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-189001	ヒートポンプ冷温水システム	4.3	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-189002	ヒートポンプ冷温水システム	4.6	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-189004	ヒートポンプ冷温水システム	4.1	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-189007	ヒートポンプ冷温水システム	2.8	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-194001	地中熱ヒートポンプ冷温水システム (ハイブリッド式)	5.1	－ 成績係数(COP)	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。

※上記に加え、設備・機器等毎にLD-Tech水準の桁数を統一する観点から、一部水準値の桁数を修正

2024年度LD-Tech水準表(案)からの変更点 (4/6)

〈水準値の更新を行ったクラス〉

更新箇所は、赤字で表示

更新対象クラス				更新内容
水準表クラスNo.	設備・機器等の名称	水準値	測定単位	
S-227011	温水熱源小型バイナリー発電設備	8.1	%	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-227023	温水熱源小型バイナリー発電設備	8.7	%	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-232004	ディーゼル発電設備（バイオディーゼル燃料専用）	40.3	%	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。
S-232008	ディーゼル発電設備（バイオディーゼル燃料専用）	40.6	%	事務局調査により、LD-Tech水準を更新致します。

※上記に加え、設備・機器等毎にLD-Tech水準の桁数を統一する観点から、一部水準値の桁数を修正

2024年度LD-Tech水準表(案)からの変更点 (5/6)



〈JIS規格の記載を更新したクラス〉

更新箇所は、赤字で表示

更新対象クラス				更新内容
水準表 クラスNo.	設備・機器等の 名称	準拠する規格	計算式	
S-040001～ S-040018	温水機	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠	意見および根拠資料を踏まえ、 JIS規格の記載を修正致します。
S-261001、 S-261002	温水機（水素焚き）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠	意見および根拠資料を踏まえ、 JIS規格の記載を修正致します。
S-041001～ S-041007	蒸気ボイラ （貫流ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠	意見および根拠資料を踏まえ、 JIS規格の記載を修正致します。
S-042001～ S-042008	蒸気ボイラ （炉筒煙管ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠	意見および根拠資料を踏まえ、 JIS規格の記載を修正致します。
S-043001～ S-043005	蒸気ボイラ （水管ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠	意見および根拠資料を踏まえ、 JIS規格の記載を修正致します。
S-044001～ S-044003	水素ボイラ （貫流ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠	意見および根拠資料を踏まえ、 JIS規格の記載を修正致します。
S-045001～ S-045003	熱媒ボイラ	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠	意見および根拠資料を踏まえ、 JIS規格の記載を修正致します。

2024年度LD-Tech水準表(案)からの変更点 (6/6)

〈試験条件の記載を更新したクラス〉

更新箇所は、赤字で表示

更新対象クラス			更新内容
水準表クラスNo.	設備・機器等の名称	試験条件	
S-263001～ S-263007	内外共に換気口を持つ二重窓	熱貫流率は、その運用時と同じように中間層内の空気を動かしながらの測定が必要になる。そのため、窓の断熱性能試験方法を定めるJIS A 4710 の算出式に換気による損失熱量の項を加え、性能を測定する。なお、同設備・機器の性質上、24時間換気設備の稼働により、常に気流がある状態での使用を想定しているため、代表性能値となる熱貫流率として、換気量12m ³ /h（6畳の空間を0.5回/h換気するための換気量に相当）における値を使用する。	意見および根拠資料を踏まえ、「試験条件」を修正致します。

